



(全国社会福祉協議会のマークです。)

かもし社協だより

令和3年1月

第162号

編集・発行 社会福祉法人 川本町社会福祉協議会 (☎72-0104) ホームページ [川本町社協](#) 検索

第12回 がんばる〜んゲーム大会



テーブル乗せゲーム



フリースローゲーム



的あてゲーム



かご入れゲーム

11月20日(金)、悠邑ふるさと会館 マルチホールにおいて、『第12回がんばる〜んゲーム大会』を開催しました。コロナ禍の今、いろいろな事業、催し物等が中止になっている中で、ゲーム大会を開催すべきかどうか検討しましたが、たくさんの方から開催を待っているとの声を耳にし、開催することにしました。会場や参加者の皆様の予防対策を十分に配慮し、関係者の協力のもと、無事に終了しました。喜びも悔しさもいつもよりは控えめに、しかし、優勝を目指しての戦いの炎は足元でメラメラ！無事に何事もなく終了したことに感謝いたします。

なお、この大会は、共同募金の配分金で行っております。



表彰式 優勝：「はつらつチーム」

この社協だよりは、共同募金の配分金で発行しています。

② 新年のごあいさつ



川本町社会福祉協議会
会長 三上 能人

令和3年の年頭に当たり、新年のお慶びを申し上げます。新年また新春を祝うことは、仕切り直しであり、希望に向けての儀式として伝えられてきた先人の智慧であると思います。町民の皆様の一層のご健勝とご活躍をお祈りいたしますとともに、本年もよろしくお願い申し上げます。

まず、昨年7月の予想外の大きな水害により被災されました皆様には、改めて心よりお見舞い申し上げます。前々年に続く災害でもあり、なおご心痛、ご不自由のことと存じ、一日も早い復旧を念じております。加えて、昨年は早々から国内で新型コロナウイルスの感染者が確認されて以降、感染が全国各地に及び、4月初めの「緊急事

態宣言」また、翌月の解除と、落ち着くかに見えたものの7月から増加に転じ、収束が見通せない中、秋に入り改めて深刻な事態を迎えました。この間、当社協のサービスは、中止を余儀なくされた行事等も出ましたが、介護予防事業や子育てサポートセンターの事業については、関係機関と打ち合わせの上、一時中止したものの実施に至っているものもあります。今後とも感染防止対策に徹底して取り組んでまいります。さて、防止対策として求められる「社会的距離 Social Distance」であります。この言葉の本来の意味は、「社会的過疎」だそうです。実際、目のご不自由な方が、この言葉が使われ始めて「さっぱり声を掛けてもらえなくなった」と聞き及びます。こ

こは「社会的 Social」ではなく「物理的 Physical」とすべきであるという意見に理があると思います。臨機応変な心構えが求められます。人と直に接するリスクの回避は人を疎遠にします。仕事上はテレワークを活用せざるを得ない事態である一方、家庭の「巣ごもり」状況も深刻です。そこで注目されて

いるのがラジオです。（携帯）ラジオは東日本大震災で大きく見直され、今またコロナ禍で大きく利用者を増やし、この傾向はリスナーの習慣として根づく可能性があると言われます。ラジオがインターネットやスマートフォンと相性が良いことから、NHKは「らじる★らじる」、民放は「ラジコ」として知られており、既にご利用の方もあります。テレビ、パソコン等の視覚メディアでなく、音・音楽のみによる聴覚メディアであるラジオには、目を閉じてでも何かをしながらでも身近な生活情報に接し、心に響く潤いのある共感の世界があると感じます。「ラジオのすすめ」と相成りました。が、コロナの収束を見据えて、日々の生活に工夫して過ごしてまいりたいものです。



③ 百歳バンザイ!!

～百歳を迎えられた方をご紹介します～

菅田 トシエさん

（大正9年12月25日生）

12月25日（金）に、満百歳を迎えられた菅田トシエさんのお祝いに、自宅へお伺いしました。

三上社協会長がお祝いの言葉を述べ、贈呈させていただきました。長寿の秘訣をお聞きしたところ、「普段から食事をあまり好き嫌いなく食べていることかも」とご家族の方が話をされました。これからもお元気でお過ごしください。



あけましておめでとう

本年もどうぞよろしく

お願い申し上げます

会長	三上 能人
副会長	山根 満江
理事	櫻本 博志
佐々木 ミチ子	
住田 達宣	
森口 正和	
安田 誠人	
遠藤 幸秀	
日笠 一郎	
森脇 淳宏	
監事	

介護予防拠点施設「悠湯プラザ」

悠湯プラザでは、介護予防通所事業を行っております。

介護予防は、65歳以上の高齢者が要介護状態になることを遅らせたり、未然に防ぐことを目的とし、住み慣れた地域で自立した生活を継続していけるよう支援するサービスです。できる限りのことを自力でできることが前提です。

昔のように、同じ地域でも顔を会わせることも少なくなってきました。いろいろな事業に参加して、毎日が楽しいと思えるようにしたいですね。

支援事業の紹介

体操教室（3B体操）



令和元年に引き続き、日本3B体操公認指導者による3B体操を行いました。

3B体操は、誰でも無理なく楽しむことができる体操として、日本全国に普及されています。そして、3Bとは、『ベル』『ボール』『ベルト』という3つの用具を表しています。

今回はベルを使用して、ゆっくりと全身を伸ばし、また、音楽に合わせてながら体操を行うので、昔懐かしい曲を口ずさみながら楽しい時間となりました。

この3B体操は、すこやかセンターでも体験することができます。詳しくは、川本町社会福祉協議会までお問い合わせください。

こころの健康教室（うつ予防について）



毎年、年に1回、役場の保健師による、こころの健康教室「うつ予防について」のミニ講座を開催しています。うつ病は、特別な病気でないこと、そして誰にでもかかりうる病気とのことです。

早めの相談・治療と休養が大事と言われています。風邪をひいたら内科を受診するように、こころに症状が現れたときは、早めに専門的な医療を受けましょう。

職場体験（川本中学校生）

11月18日（水）、川本中学校2年生の城納真由さんが、川本町の高齢者について学びたいと、職場体験で悠湯プラザに来所されました。通所の皆さんのお孫さん世代です。

一緒に体操で体をほぐし、炬燵に入り和やかな雰囲気でお話が弾んでいました。「どうして、この事業に参加しているのですか」との質問には、「同じ地域でも顔を見ることも少ないから」、「もうちょっと元気でいたいから」、「みんなに会えるのを楽しみにしている」と、いろんな思いが聞こえてきました。お互い質問したりされたりと、楽しい時間が過ぎていきました。



在宅児家庭対象『あそびのひろば』

ご家庭で子育て中の皆さんを対象とした『あそびのひろば』では、親子のふれあいや保護者の方の交流・くつろぎの場として、毎月楽しいイベントを行っております。

おたのしみシアター

11月恒例の『おたのしみシアター』では、読書ボランティアグループ「ルピナス」の皆さんが、真っ赤な手作り衣装でご登場！手遊びで笑って、絵本で心がジーンとして…、最後は歌って踊って大盛り上がりでした！

0歳の男の子は、歌を聴いていたらすヤスヤねんね…。2歳の女の子達は、お母さんとノリノリダンス♪親子やお友達との楽しい時間となりました。



リース作り



季節の行事ということで、12月は、樋口千代子先生をお招きし、『リース作り』を開催しました。

たくさんある材料の中から、「どんなリースにしようかな？」と、樋口先生とお話しながら…、あっという間に素敵なリースの完成！

11名のお母さん全員のセンスがキラリと光る世界にひとつだけの作品ができました♪



居場所サポーター研修会

放課後、居場所で子ども達の見守りをしてくださっているサポーターの皆さんと、『あいサポーター』についての研修会をしました。研修後に「あいサポートバッジ」を受け取って、あいサポーターになられました。以下、感想を紹介します。



車の運転中、横断歩道の段差で困っている車椅子の方を見かけたが、声を掛けられず後悔したことがあったので、これからは、迷わず声を掛けようと思います。

自分の知らない障がいがたくさんあり、困ったときにどうして欲しいのか、どのように接したらよいのかを詳しく知ることができました。

自分の思い込みで見めるのではなく、人として尊重し合う大切さに気付かされました。

相手の気持ち、都合、立場を考え、行動することが大切だと痛感しました。まず、「知ることから始めよう！」障がいのある方が、生きやすい世の中になる力になりたいと思います。

今迄、身体の不自由な方々への声掛けがスムーズにできていなかったが、これからは、「何か手伝えることはないか？」など、いろいろなことに配慮しながら積極的に声掛けをしていきたいと思いました。

見た目には分からない困りごとを抱えた方達がおられることを知りました。人々が思いやりや理解を持ち、困りごとを抱えた方達が安心して人々に助けを求められるような環境になるために、自分が何ができるか考え、行動していきたいと思いました。

SUPPORTER

『あいサポート』とは

「愛情」の「愛」と私の「I」に共通する「あい」と、支える、応援する意味の「サポート」を組み合わせ、障がいのある方を優しく支え、自分の意志で行動することを意味しています。

「すこやかセンター」「悠湯プラザ」利用者様及び社会福祉協議会の事業参加者の皆様へ

新型コロナウイルス感染症が全国的に拡大している中で、感染予防の観点から引き続き、入館時の手指消毒や任意でのマスク着用をお願いしております。

また、事業につきましては、換気の徹底、物品の消毒を行っております。

ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

「総合相談」のお知らせ

内 容

どこに相談してよいか分からない、誰にも言えずに悩んでいるなどの相談に応じます。

相談受付日

原則月々金曜日（祝日、年末年始を除く）
8時30分～17時00分

※社会福祉協議会職員が対応し、専門機関への紹介、必要な制度等へおつなぎします。

場 所

川本町社会福祉協議会

（すこやかセンター内）

電話（5）72-0104

お気軽にご相談ください。

ありがとう

ございました

香典返し御寄付

（令和二年十月～十二月まで）

（御住所）

（御芳名）

川 下

勝 田 正 文 様
（故 勝田 宗剛 様）

因 原

日 向 弘 剛 様
（故 日向 利昌 様）

北 佐 木

上 明 幸 吉 様
（故 上明キヨコ 様）

川 本

大 谷 好 一 様
（故 大谷 花子 様）

川 本

室 田 薫 様
（故 室田シゲコ 様）

川 本

勝 部 明 正 様
（故 勝部 祐治 様）

川 下

黒 田 早 苗 様
（故 青木ミサオ 様）

川 本

瀬 尻 京 子 様
（故 瀬尻 一枝 様）

（御住所）

（御芳名）

川 下

長 谷 田 文 雄 様
（故 長谷田藤三 様）

三 原

松 井 紹 憲 様
（故 松井 君枝 様）

谷 戸

近 重 由 美 子 様
（故 松島サダメ 様）

三 原

山 口 廣 信 様
（故 山口 常義 様）

三 俣

山 田 智 恵 子 様
（故 山田 重光 様）

川 本

朝 比 奈 勝 士 様
（故 朝比奈 功 様）

川 本

三 浦 馨 様
（故 三浦 成子 様）

川 本

伊 藤 悦 子 様
（故 伊藤 義武 様）

田 窪

原 田 末 美 様
（故 日高 勝二 様）

川 本

福 田 利 博 様
（故 福田アエ子 様）